

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		にじいろキッズらいふ若里東(放課後等デイ)				公表日		令和7年3月24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	3		・クールダウン出来たりちょっとしたスペースが必要だと思う。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		2	2					
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		1	3					
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		3	1					
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		1	3	・必要に応じて個別スペースが確保できるようにしている。	・個別の部屋の確保は難しい。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	2					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・保護者の希望は活動にも取り入れている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		・アセスメントと先を見通して今必要な支援が何か…といったケースごとの話をする時間が必要。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	2					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	1	3		・アセスメントを丁寧にしていく必要がある。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	2		・疑問点や支援の方向性について話をする時間が必要。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	2		・計画で進めて違った時の修正や振り返りなど、その都度必要。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	3					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2		・活動内容を具体的に決めるところを一人に負わせてしまっている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・3ヶ月ごと、曜日ごと活動内容を変えている。				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		・集団でできる子どもたちは集団で出来るものにしたほうが良い。			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・送迎前のミーティングとして行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3		・振り返りとして子どもの様子や変化、対応に苦慮した点など話す時間が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		・活動内容の記録はしているが、全体的な子どもの様子として形式が決まっているとまとめやすい。 ・日々の記録はしているが検証、改善は繋がっていない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	・OTに入ってもらい、活動の流れや子の対応を見てもらっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	4	0	・他施設と合同で遊ぶ機会が今年度あり、そうした機会を定期的に持てると良いと思う。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	・やる、やらない等最低限のラインは設けつつ、子どもが決められるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	情報共有を積極的に行っている。	・他の施設や機関が関わって上手くいった点と難しかった点を共有し、支援の方向性を具体的に考える話し合いが行われるといい。 ・病院との関わりは難しいが、学校とも連携をとることが難しく、送迎の時間だけでは子どもの様子が分からない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・学校から下校時間の変更について連絡が来ることもあり、情報共有ができています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	・支援会議を行い、児童の様子や取り組んできた事の共有をしている。	・同一法人の療育を利用していた子は引継ぎ書や話し合いの場があるが、それ以外の子はそれ以前の情報収集が相談員の聞き取りになるので、具体的な子の様子が分からない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		・法人内で事業所が変わる場合など、定まった引継ぎ書があると次の事業所でも支援を検討しやすいと思う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	・児童発達支援センターのOTのモニタリングとカンファレンスの機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	3		・定型発達の子どもの関わりが日々の活動ではないので、そうした機会があるといい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・子のお迎えの時に本日の活動の様子を伝えつつ、家ではどうかと情報を聞くようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		・研修や遊びのチラシを配布しているが、事業所が主で保護者同士が意見交換できる場があるといい。
保護者へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・利用開始前に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		・児発管が確認していると思うが、担当制にするのであれば、担当職員の同席もあった方がいいと思う。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		・お迎えの時に確認しているが、話す時間を別に設けた方がいいと思う。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・面談の機会が少ないが、今年度は希望者を募って心理面談を取り入れた。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		・療育の場から保護者同士のが交流が続いている人もいるが、放デイからの利用となると難しいので、きょうだい交流も含めた家族交流の場が持てるよう、保護者にも意見を聞きたい。

の 説 明 等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・次の月の利用日確認とあわせて活動内容を提示している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・視覚カードの利用や、保護者へも通知で知らせるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		・地域にどう開いていくか今後の課題。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	・定期的に行なっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・保護者に記入してもらったアセスメント用紙に記入してもらう。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・医師の指示書はないが、保護者から聞きとっている中で対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・何かあった時は、その日のうちに確認している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1			